



## ”書く”って楽しい授業をめざして

1月号、2月号の「すたなび」は「”書く”って楽しい授業をめざして」と題して、2回に渡って、どのような授業の工夫をしているのかを紹介します。1月号では高学年・専科・新学習システム、2月号では低学年・特別支援での実践を紹介します。

### ☆朝の会

「元気調べ」に続けて、みんなに話したいことがある人はお話を発表します。その時に他の子は聞いているだけでなく、お話の内容をメモしてまとめるようにしています。2学期から続けています。最初はどうまとめていいかわからなかったり、書ける量も少なかったのですが、今ではどんどん書けるようになり、また、自分なりのまとめ方も身に付き始めてきました。

### ☆国語

「のはらうた」の学習では、自分たちも野原の仲間になって「のはらうた」を作ることに取り組んでいます。野原の生き物や植物になりきり、詩を書き、その詩から見えてくる風景や、自分がイメージしたことを絵にも表します。「書く」と「描く」で素直な感性を表現する活動に取り組んでいます。

4年担任 柏木 亮



### ◇いろいろな「書き方」を知る

国語の学習では、「自分の考えをまとめる文章」だけでなく、「報告する文章」「説明する文章」「筆者の考えをまとめる文章」などいろいろな文章の書き方に挑戦しています。「千年の釘に挑む」の学習では、文章を読んで心に残ったことを『キャッチコピー』として短く表す練習をしました。その後、自分のお気に入りの本にキャッチコピーをつけ、図書室に飾るポップを作りました。自分の思いを伝えるために一つ一つの言葉を慎重に選ぶことができました。

希跡の一本松～日本の希望となりて～

ひらめけ！  
～古代のほねをとったはんにんをおって～

あきらめない！～走りつづけるボルト～



5年担任 佐々木 美幸

辰美小学校では、教室にノートパソコン・実物投影機、プロジェクターなどの機器が整備されています。そこで、これらの機器を積極的に授業に取り入れています。私は、4年生の理科、5・6年生で算数と理科を教えています。普段の授業では、子ども達の立場に立って全員が学習の内容を理解できるように心がけて準備し実践しています。学習内容によってグラフ、図などの掲示物を用意し、資料のプリントや練習問題のプリントなども使いながら学習を進めています。理科では、実験・観察時にできるだけ一人一人が取り組めるように準備をしています。そして、実際の事物を提示したり、また実体験ができにくい教材でも少しでも類似した経験ができる工夫もしたりしています。基本的には「課題→予想→実験・観察→結果→考察」の流れを基に児童の探究心を大切にしながら学習を進めています。その過程で予想、結果、考察については子ども達にまずノートに書かせてそれらをもとに話し合いの時間をとって思考を深めていくように努めています。

新学習システム 正木隆博

### ◎文章を書くことの楽しさとは？

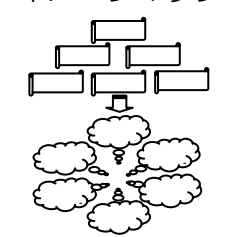
文章を書くことが楽しいと思えるようになるためには、書くことで自分の想いや考えが伝わる経験を積むことが大事だと思います。

想いや考えが伝わりやすい

書く

伝わりやすい

### イメージマップ



アイデアを  
精選

伝わる  
文章

6年生では、「イメージマップ」などを書いて伝えたいことを可視化しています。それにより、考えがまとまってよりわかりやすく伝えることができます。そして、わかりやすく伝えることができれば、書くことも楽しくなるというサイクルを目指しています。

6年担任 黒田 昌克

音楽では、長い文章など書くことが少ないですが、音符や記号、音階など書いて覚えることがたくさんあります。何度も書いて消すことができる『ホワイトボード』を使用し、少しでも楽しく覚えられるように、5問のクイズ形式にしています。

### Q1「ト音記号を書きましょう」



また、初めて聴いた曲についての感想や歌うときのめあて、歌う時の工夫など自分の考えや思いをしっかりと文章にできるようにホワイトボードに書くこともあります。それらをもとに曲について考え、歌い、最後には書いたものを見ながらふり返しをします。それぞれに書いたものを残すことにより明確化されるので、一人一人の思いを大切にしたい授業を目指しています。



専科 国中 智佳子